

②1 やんぼ 八ッ場ダム管理棟建築工事

受賞機関 国土交通省 関東地方整備局
八ッ場ダム工事事務所

キーワード 周辺景観との調和、内装の木質化、地域振興

全建賞審査委員会の評価ポイント

名勝「吾妻峡」に隣接して建設される八ッ場ダム管理棟の建設事業。周辺の景観との調和を図るとともに、利活用を図るために、建物を分節（上階をセットバック）してボリューム感の軽減やダムとの連続性を意識したコンクリート打ち放しのデザインとした点、観光客の増加が期待される八ッ場ダムで拠点機能としての効果もある「良好な景観形成の実現」が評価された。

1. はじめに

本事業は、群馬県吾妻郡長野原町において建設中の名勝「吾妻峡」に隣接する、八ッ場ダム事業に伴うダム管理施設の整備事業である。

建設地は、八ッ場ダム左岸に位置し、管理棟の整備にあたり「吾妻峡」の景観に与える影響の軽減対策を行うほか、地域固有の景観や新たに出来るダム湖の景観との調和を図る必要があった。

2. 事業の概要

- 規模構造：鉄筋コンクリート造地上3階 地下1階
- 延床面積：2,385.05㎡

ダムの管理は、ダムおよび貯水池の安全性を確保するための管理や放流操作に関係する一連の作業（観測、巡視・警報、通信等）から成り立つ。本施設は、これら管理業務を遂行する機能のほか、八ッ場ダムの歴史と変遷を展示・説明等を行う地域振興を目的とした機能も併設している。



管理棟外観

3. 事業の成果

1) 良好な景観形成の実現

建物全体のボリューム感を抑え圧迫感を軽減させるた

めに建物を3つに分節・雁行し、上階をセットバックする手法を採用した。外装は打放しのコンクリートを主体としたデザインとする事で、ダム本体との連続性に配慮した。外部に露出する金属類は光の乱反射による景観への影響を配慮し、極力乱反射の少ない表面仕上げとした。

2) 環境保全対策

エントランスホールや展示室等の部分の仕上げには積極的に木材を使用し、施設を訪れる人に豊かな空間を提供するよう努めたほか、内装の木質化を図る事で環境への影響に配慮した。



エントランスホール

3) 新技術の導入・活用

コンクリート打設後、断熱養生シートによる断熱養生工法の採用により、コンクリート表面の保湿状態を維持し温度低下によるひび割れの抑制に寄与した。加えて、コンクリート型枠脱型後、コンクリート保温養生気泡緩衝シートによる養生工法の採用により、脱型後のコンクリートの急激な温度低下によるひび割れおよび乾燥収縮ひび割れを抑制し、コンクリート打放し仕上がり品の品質向上に寄与した。

4. おわりに

本事業の実施にあたり、多くの関係者からのご協力により施設完成に至る事が出来た。

この誌面をお借りして、ご協力頂いた全ての関係者に深く感謝の意を表したい。

末永く県内外の方々に愛される施設となる事を願っている。

賛助会員 (株)唯設計